



冬季休業前全校集会

校長講話（要旨）

12月23日（月）

1 定期戦優勝旗新調

現在使用中の優勝旗に痛みが目立ってきたため、両校同窓会に相談し、新調していただきました。12月18日（水）本校で両校の同窓会長・校長他関係者により伝達式が行われました。本日、同窓会長様から改めて贈呈していただき、生徒の皆さんに披露します。



昭和22（1947）年創始

開始当時は、優勝旗・優勝カップは無く、これが揃ったのは昭和28年という記録もあるが、本校卒業生によれば、初代優勝旗は昭和27年に個人より贈られたということです。

昭和59（1984）年、2代目の優勝旗を両校同窓会が作成

令和 元（2019）年、3代目の優勝旗を両校同窓会が作成

今年の定期戦は平成最後の定期戦となった。来年が令和最初の定期戦であり新しい優勝旗を獲得できることを期待する。新たな歴史が刻まれた。このようにして「伝統」が引き継がれていくのです。

2 グランドデザインの制定について

来年度に向けたグランドデザインの学校教育目標と重点目標を策定しました。詳しくは、後ほど提示します。

学校教育目標

為桜の精神（校規五章・綱領「誠実・剛健・進取」）を体現する、知徳体が調和した人格の形成を目指し、文武不岐を実践して高い学力と体力を養う。

地域創生に担い手となり、国際社会の発展にも貢献するリーダーシップを持った人材を育成する

2020重点目標

- 1 正しい判断基準と実践力を養う
- 2 客観的に考え、自ら考える力を養う（メタ認知）
- 3 挫折や失敗を怖れずチャレンジする力を養う

これに関連し、望ましい学校像について考えを共有したい

学校は、誰にとっても安全で安心できる場所であり、理想を語り求める場所、常識（良識）が通用する場所、善意が報われる場所である

自分だけが良ければいいのではなく、互いの良さを認め合い・助け合う集団となるよう努力する。もちろん、現実の世の中では理想論が通用しない現実もあるが、為桜学園とその卒業生は、正しいことや善意が正当に評価されるような社会を目指す。

3 今年を振り返る

生徒の自主的活動・自治能力の高まりが見られた。

夏休み前は、応援方法拡大要望署名、秋冬には生徒会目安箱に基づく嘆願書（時計・石鹸・黑板掃除用品）や文化祭開催についての嘆願書が提出されました。生徒の自主性が高まることは、学校の活性化に繋がる一方、学校評価アンケートをみると、校内の整美状況を自分事と捉えていない様子が伺えました。権利と義務、主張と責任などについて考え、自分自身の言動を客観的に観察し（メタ認知）、自己批判力・自己修正力を伸ばしてほしい。

大学入学共通テストの2本柱（英語4技能民間試験、国語・数学記述式問題）見送りは大きな変更だが、不易流行、今やるべきことに集中すべし。

勉強方法について悩む1・2年生には「勉強大全」を勧める。勉強法に悩む人には、大いに参考になると思う。

3年生は、センター試験を全員で受験して3年間の集大成を行い、進路が未定のものは、最後まで諦めないで受験を乗り切ってほしい。